

事業実績書

1. 地域づくりの活動方針(テーマ)

第3次陶地区地域づくり計画の4年目となり「**みんなでつころう笑顔でつながるふるさと陶**」のキャッチフレーズのもと、「少子高齢化」の地域課題の状況ではあるが、「オール陶」の体制で積極的に取り組む。

2. 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	帰りたくなるまち陶	
	事業名	夏フェス・遊友カフェ	決算額 0
②	視点	誰もがつながり支えあうまち陶	
	事業名	自主防災活動の推進	決算額 32,493
③	視点	誰もがつながり支えあうまち 陶	
	事業名	陶クリーン作戦	決算額 329,274

3. 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①「夏フェス」は12月まで待って『冬フェス』に切り替えてでも実施する意気込みであったが、やはりコロナの余波で感染防止のため止む無く中止した。また「友遊カフェ」もコロナ感染拡大防止のため中止となった。	×
②6月下旬にため池ハザードマップが交付され、それに基づいた各地区での避難訓練はコロナ禍という事で中止されたが、11月上旬に小学校との合同避難訓練のみ実施した。また土嚢づくりも11月下旬コロナが下火と思われたので消防団員と協力し100体作成した。	△
③コロナ禍において、屋外作業で三密を避けながら小学生～高齢者まで例年とほぼ同数の参加者で、地区内の国道、県道、市道周辺や通学路及び中央公園のクリーン作戦を実施する事が出来た。また、本作戦に2つの企業から技能実習生も参加して頂き、国際交流の疑似体験ができた。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

- (1) まさかの2年続きのコロナで「陶地区民運動会」、「陶ふれあいまつり」、「三世代交流」などの大きなイベントが感染防止対策のため中止を余儀なくされた。ただ昨年度コロナ禍でも実施した経験のあるクリーン作戦は予定通り3回実施し、ほぼ例年と同数位の参加者があった。
- (2) 今年も昨年同様「夏フェス」がダメなら「冬フェス」まで延期の末中止。「陶ふれあいまつり」も中止となり「何か出来るもの」はないかと若者グループから委員会にステージ団体撮影、DVD化の提案があり、その提案事項を実現させた。この様に若者からの提案で一旦中止となった行事を完全中止とせず、何とかして行事の火を消さないよう代替案を提案して、それを実行し来年へと繋いでくれた。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,085,873円						
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員:2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、費用弁償、事務費、通信費 (成果・評価) まさかの2年連続のコロナで、しかも変異株のオミクロンということで、どの程度まで続くのか予想がつかず直近の行事を中止せざるを得なかった。上半期過ぎて中止となった行事予算を集計し、他部会への転用を検討し、法定外工事への転用も実施した。 (今後に向けて) コロナと共存した環境下での事務局運営を行う事務改善に努めます。</p> <p>(費用明細)</p> <table> <tr> <td>事務局長給与</td> <td>1,348,500円</td> </tr> <tr> <td>事務局員給与</td> <td>2,023,348円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>714,025円</td> </tr> </table>	事務局長給与	1,348,500円	事務局員給与	2,023,348円	事務費	714,025円
事務局長給与	1,348,500円						
事務局員給与	2,023,348円						
事務費	714,025円						

(2) 地域振興

事業名	人材発掘、人材育成
事業費	50,738円
事業概要	<p>(実施内容) ふれあいまつり企画会議でコロナにより中止の代替案を話し合った。 (実施時期) ①5月 ②6月 ③7月 ④8月 ⑤9月 ⑥10月 ⑦11月 (参加人数) ①6人 ②6人 ③4人 ④5人 ⑤5人 ⑥9人 ⑦14人 12回/49人 (成果) まつり中止となったステージ団体の発表を撮影・編集し、「思い出DVD」の作成をした。 (評価) 各行事が中止となる中、「何かしないと」の意気込みが地域を動かした。 (今後に向けて) 若者の意見を真摯に受け止め、より地域の活性化を図りたい。</p>

事業名	ふれあいまつり行事の開催										
事業費	100,365円										
事業概要	<p>(実施内容) ①「地区民運動会」②「夏フェス」③「陶ふれあいまつり」④友遊カフェを計画するも (成果) ①～④の行事は、いずれもコロナで中止となる。しかし、③の中止が決定されると若者グループは③の代替案として③のステージ団体は日頃練習しておられるので発表の場を作ってあげようの提案で南総合センターの舞台で収録し、それを編集し、③の開催予定日に交流Cで放映し、関係者に「思い出のDVD」として配布した。 (評価) 行事が中止でもその趣旨をくみ取り、代替案を提案する若者パワーがすごい。 (今後に向けて) 来年もコロナ等で行事中止が予想されるが、年寄りの執行部で即中止でなく若者グループにも声掛けし行事の中止を極力なくすよう工夫が必要。</p> <p>(費用明細)</p> <table> <tr> <td>①地区民運動会</td> <td rowspan="2">}</td> <td rowspan="2">100,365円</td> </tr> <tr> <td>③陶ふれあいまつり</td> </tr> <tr> <td>②夏フェス</td> <td></td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>④友遊カフェ</td> <td></td> <td>0円</td> </tr> </table>	①地区民運動会	}	100,365円	③陶ふれあいまつり	②夏フェス		0円	④友遊カフェ		0円
①地区民運動会	}	100,365円									
③陶ふれあいまつり											
②夏フェス		0円									
④友遊カフェ		0円									

事業名	活動グループの育成
事業費	25,689円
事業概要	<p>(実施内容) 地区民中心の活動グループ(①ふれあい農園クラブ、②陶助人隊、③写友陶)を支援(趣味等が同じ人の集まりから少しづつ組織化する)</p> <p>(実施時期) ①②③通年</p> <p>(参加人数) ①会員18人 ②隊員19人 ③会員9人</p> <p>(成果) ①野菜の植え付けから収穫を1年通してみんなで作業、ふれあいを深めている。 ②中央公園、グリーン作戦の裏方力作業等の要請はあるが、他の助っ人要請はない。 ③2か月に1度の写真掲示メンバーは変わらないが出品作品の数は多くなっている。</p> <p>(評価) ①野菜づくりを通じて、他の地域貢献活動の足掛かりに繋がっているのは確かにある。 ②今年も力仕事のみ(公園の草刈り等)助っ人依頼で、ソフト作業の依頼なし。 ③「陶地区内の四季の写真」コンテストで交流C内展示作業の協力頂く。</p> <p>(今後に向けて) ①グループの親睦を一層深めながら、地域づくり活動にも参加します。 ②力作業だけでなく和裁、生花、菓子づくり等のソフト作業のPRの強化。 ③定期展示の写真が「陶の四季写真」コンテストの更なる向上を期待します。</p>

事業名	広報活動の推進
事業費	766,775円
事業概要	<p>(実施内容) ①広報誌「まるごと陶」を毎月発行し、各戸に配布しました。 ②フェイスブック「まるごと陶」をタイムリーに情報発信を継続。</p> <p>(実施時期) ①、②共に令和3年4月から令和4年3月まで(No113からNo124)</p> <p>(参加人数) ①毎月第2火曜日編集委員会(76人)</p> <p>(成果) ①郷土の偉人生誕200年記念記事を10回連続掲載し、後の記念講演会に遠くは愛知県、田布施、下松、宇部から聴講にいられていて、どのような方法で講演会の情報を知ったか尋ねたら「まるごと陶」の読者からとの回答であった。</p> <p>(評価) ①コロナのため成人式の山口市記念写真が撮れなかったため、「まるごと陶」の編集技術を駆使して思い出のひとつとして新成人へ記念写真を作成し配布した。</p> <p>(今後に向けて) ①地域の情報源として、更に読み易く親しみのある内容に努めます。</p>

(3) 地域福祉

事業名	子育て支援の推進
事業費	68,583円
事業概要	<p>(実施内容) ①げんきっずすえ、②キッズ陶来楽夢の支援</p> <p>(実施時期) ①4月から毎月行事予定していたがコロナで4,8,10,12,2月の開催となった。 ②奇数月に調理と手芸を交互に予定で、コロナで出来ない月もあった。</p> <p>(参加人数) ①コロナで母子推進委員と世話人のみの事があった。 ②毎回3～5人で、7月に1名3日ほど一時預かりを実施した。</p> <p>(成果) ①節分豆まきは西園寺幼稚園と一緒に実施したとき母子とも大変喜ばれた。 ②7月に一時預かりを実施したとき家族の方から大変喜ばれた。</p> <p>(評価) ①食推、母推の協力はありがたいが、未就園児が少なくなった。 ②学童一時預かりや、料理、手芸教室は働く親にとっては喜ばれている。</p> <p>(今後に向けて) ①今後は未就園児を未就学児に変更し、げんきっず☆すえを存続させます。</p>

事業名	小規模福祉の輪づくり
事業費	16,126円
事業概要	<p>(実施内容) ①健康教室の支援</p> <p>(実施時期) ①6月「お口の健康」、10月「認知症」、12月「歌で心から元気」、2月「人と人のつながり」</p> <p>(参加人数) 26人、32人、41人、33人</p> <p>(成果) 少人数教室のため、コロナ対策の容易性を活かして活動の継続ができた。</p> <p>(評価) 健康教室の中で「あったらええね！」の意見に包括センタの方に支援して頂き、健康教室エリアだけでなく陶全体をカバーする移動販売車が走るようになった。</p> <p>(今後に向けて) 健康教室は、主催者と支援グループにお任せ状態で、教室の皆さんのお気持ちを察することなくただ支援金を拠出するという体質を変えなければならない。</p>

事業名	三世代交流の推進
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 交流イベント①陶小ふれあい広場②3世代餅つきをはコロナで中止しました。 (今後に向けて) 2年連続してコロナで中止となったので小学校のPTAや自治会福祉部会の役員交代で「三世代交流推進」の必要性が薄れてきて、存続が危ぶまれる状況に陥りやすい。また、地区内家庭においても三世代同居がほとんどない状況で人とのつながりが希薄になっている中、昔の暮らしや遊び 言い伝え等の活きた教材とし伝承すべく三世代交流が自然に開催できるよう土、日の参観日に設定する等存続が望まれる。

事業名	地域福祉講座の開催
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 健康長寿講座、西京だいがく、福祉講座等がコロナで中止となった (今後に向けて) コロナの完全終息は望めない、withコロナで講座が開催できるよう工夫が必要と思われる。(参加人数、間仕切り、換気、消毒等)

事業名	高齢者のサポート
事業費	119,900円
事業概要	(実施内容) ①フォークダンス同好会資金援助 ②陶老人クラブ連合会と協賛で朗人活動支援 (実施時期) ①コロナで3カ月休んだ以外月1回練習し、陶での発表はビデオ放映となった ②9月16日朗人活動経費支援 (効果) ①ダンス練習で体を動かした後のおしゃべり会。それが健康の秘訣とか (評価) ①ふれあいまつり中止でも発表は中止としない、発想の転換「ビデオ放映」が凄い。 (今後に向けて) ①フォークダンス同好会に60代の方が加入され、更に明るく活動が継続する。 ②今後も、老人クラブ連合会と共同し朗人活動を支援します。

事業名	交通弱者支援事業
事業費	0円
事業概要	(事業内容) 老人の買い物、通院等外出支援対策を調査・検討して交通弱者対策の実施 (今後に向けて) 当初、交通弱者支援対策として陶にAIタクシーを導入しドアtoドアで快適な老後生活を目指すとして、昨年度より引き継ぎ、少し調査した結果、高額な運転資金が必要となることが判明し、その資金をどこから調達するかで暗礁に乗り上げた。そもそも問題は陶の様な小さな地区のみで導入を計画するのでなく川東地区全体で導入計画を立てた方がAIタクシーの効率も上がり運転資金も割安となるのでは考えたが、川東地区全体会議を開催するまで至らなかった。

事業名	健康管理活動・保健講座
事業費	15,000円
事業概要	(実施内容) 陶地区ウォーキングのコースで、ふるさとを再発見と体力づくりを予定していたがコロナのため中止となったが、山口市協賛のヘルシーウォーキング陶をサポートした。 (実施時期) 10月31日 (参加人数) (参加者150人 スタッフ50人(体協20人、福祉部9人、ドーナツ12人、スポーツ推進9人)) (成果) ウォーキングを通じて他地区民とのつながりがは勿論、ふるさと陶の建物等で感動された場面を見たとき、見慣れた風景がいつもより新鮮さを感じた。 (評価) 陶の現地案内人、スタッフが心地よくお迎えしておもてなし出来たと思う。 (今後に向けて) 今回の経験を活かし、北コース以外で見どころ再発見を試みる。

(4) 安心・安全

事業名	反射鏡設置・修復(道路環境の整備)
事業費	0円
事業概要	(事業内容) 法定外道路の反射鏡所設置、故障修理 (成果) 今年度の里道、連合自治会設置の反射鏡取付、故障修理はなかったが、山口市道で市設置の反射鏡不備は6カ所あり、市に報告した。 (今後に向けて) 交通安全対策協議会委員の点検・清掃の定期実施、防犯対策協議会委員の点検等を継続実施する。

事業名	自主防災活動の推進
事業費	32,493円
事業概要	(実施内容) ①「陶小との合同避難訓練」で、教室から運動場に避難し消火訓練実施。 ②「土嚢づくり」消防団と共同で100体の土嚢を作成。 (実施時期) ①11月5日 ②11月27日 (参加人数) ①陶小78人、自主防災8人 ②自主防災9人、消防団11人 (成果) ①毎年同様の訓練を継続実施しているので、予定時間内に完了させる事が出来た。 ②2カ所の砂置き場でそれぞれ50体ずつ土嚢を作成。 (評価) ①コロナ禍での防災避難訓練は2回目の実施で普段と変わらない行動であった。 ②昨年の土嚢袋作成と合わせて、土嚢袋合計150体の貯蔵が出来た。 (今後に向けて) ①来年度は委員大半が新人なので防災士による研修会を実施予定。 ②ため池ハザードマップを基本に各地区で避難場所を、設定の予定。 ③避難場所設定で実際に避難訓練の実施 ②～③を1年かけて出来るか出来ないか実施し検討する。 ④砂場がない会館に土嚢を50体ずつ貯蔵していく。

事業名	交通マナーアップ in SUE(交通安全、交通マナーアップ)
事業費	39,801円
事業概要	(事業内容) 小、中新入生の交通安全を図るため警笛、ベストを贈り、交通安全期間中に幟旗掲揚と、広報活動や立哨活動を実施。 (実施時期) 4月、7月、9月、12～1月 (参加人数) 54人 (成果) コロナのためカーブミラー点検・清掃9月は未実施とし他の立哨は計画通り実施。 (評価) カーブミラー点検・清掃で市設置のミラー不備について6カ所報告で、全て交換された。 (今後に向けて) 引続き交通安全週間には、立哨、カーブミラー清掃を継続する。

(5) 環境づくり

事業名	土木工事:法定外公共物
事業費	3,812,000円
事業概要	(実施内容) 法定外公共物の水路工事5件実施(水路浚渫1件、水路現状回復4件) (実施時期) 令和3年9月～令和4年2月 (参加人数) 業者に委託 (成果) 法定外工事交付金を約50万円超過したがソフト事業より補填し要望に応えた。 (評価) ソフト事業費の法定外工事費への転用は、コロナで複数行事中止の為実施した。 (今後に向けて) 定められた予算内で、今迄どおり公平に地区民の要望に応える。

事業名	陶クリーン作戦(道路環境美化)
事業費	329,274円
事業概要	(事業内容) 地区内の陶中心部の国、道、市道周辺の環境美、中央公園清掃の実施。 (実施時期・人数) 7月(294人)、11月(265人)、2月(29人) (成果) 50回近いクリーン作戦で地区人に浸透し、参加人数に変化が無いのが有難い。 (評価) 最近地元企業や小中学校PTAの若い人がコロナ禍にも関わらず参加者が増え、高齢化が進む地区としては大変有難い。 (今後に向けて) 更に作業工程、方法の見直しをしながら、事故のないよう活動を継続する。

(6) 地域個性創出

事業名	再発見「素晴らしい陶」
事業費	248,330円
事業概要	(実施内容) ①[陶の行事&四季]写真コンテスト。審査方法は地元住民の投票で決定。 ②陶地区内の史跡を紹介したノート作成(史楽ノートVOL3) (実施時期) ①写真は9月～11月上旬まで応募で、展示は11月10日～12月9日迄 ②12月～1月下旬(ノート企画・構成から原稿作成) 2月下旬(ノート完成) (参加人数) ①17名(44作品応募あり)、総投票人数157人 最優秀賞1、優秀4、入選6 ②企画・構成・修正約20人 (成果) ①作品、応募者、投票数とも昨年より増えて地区民の関心が高かった。 ②このノートは陶地区内、小学生にも配布で「陶の素晴らしさ」が拡がりつつある。 (評価) ①②とも人気は僅か上向き傾向だが、限られた地区内でのネタ探しに苦慮している。 (今後に向けて) ①②とも地区内限定でネタ探しが困難で、エリアの拡大も検討中。

事業名	陶ふるさと大学(史楽会)
事業費	104,924円
事業概要	(実施内容) ①史楽会の支援(富永有隣生誕200年関連行事) ②ふるさと大学(今年度は史楽会と協賛) (実施時期) ①②11月12～14日 (成果) ①②遺品・遺墨展示会、一坂太郎講演会、浦安の舞・腰輪踊奉納、スタンプラリー 有隣(酒)、有隣饅頭等の企画で延べ100名近くの参加者があり、地元で埋もれた存在の人物の生誕200年祭をここまで盛り上げた「史楽会」の功績は大きい。 (評価) 孤高の教育者「富永有隣」というテーマで9回「まるごと陶」掲載し、生誕200年での展示会・講演会等で、富永有隣という人物が陶出身で吉田松陰とも付き合いがあり、その後、何をしたか陶地区住民には十分情報発信できた。 (今後に向けて) ふるさと再発見に向けた史楽会を支援するとともに陶の何かに役立てたい。

事業名	文化財保護活動
事業費	180,590円
事業概要	(実施内容) ①昨年より継続実施の陶地区内史跡案内板の改修(6カ所) ②文教部会委員と西陶こども会合同での陶窯跡周辺の清掃活動の実施。 (実施時期) ①11月 ②3月 (成果) ①陶地区さとづくり推進事業協議会設置案内板6カ所改修した。 ②子供会と一緒に清掃することで自然に昔ここで何をしていたかが伝えられた。 (評価) ①案内板6カ所改修した後の反省会で案内板にQRコードを付加しその史跡だけでなく他にも史跡があることや関連情報を周知出来るのではとの提案があった。 (今後に向けて) ①提案のあったQRコードの付加 について勉強会を実施予定。

事業名	陶ブランドの立ち上げ
事業費	206,590円 (実施内容)①今年も「遊休農地」酒米で地酒をつくる。「地酒の楽校」はコロナで中止。 ②すえつき-ポロシャツのイラスト及び布地を変更し販売した。 (実施時期(人数)) ①7月(0人) ②6月～10月(5人) (成果) ①品名「陶酔」を今年のみ有隣生誕200年にちなんで「有隣」として販売。有隣の講演会でPRした。 ②ある団体から布地を薄めにするのと、イラストに動きあるものをの提案があり、作成すると地区内口コミで計76枚販売。 (評価) ①「遊休農地の利用」の課題が大きく、具体的なアイデアが出なかった。 ②「すえつき-布地改良」、「富永有隣」饅頭の試作品は若者のアイデアがひらめきそのアイデアを即取り入れたことが良かった。 (今後に向けて) 陶の魅力を若者にも聞いて、アイデアを生み出したい。

事業名	地元文化育成
事業費	25,000円
事業概要	(実施内容) 地元の音楽愛好家を軸とした手作り音楽祭を陶ふれあいまつりと共催する計画が、コロナ感染拡大防止のため中止となったが、若者のアイデアで形を変えた方法で陶地区民に披露することが出来た。 (成果) 11月上旬に南総合センターの舞台上で音楽愛好家に演奏してもらい、それを収録、編集し、11月20日～21日交流センターで展示会に併せてビデオ放映をした。また出演したグループには思い出のDVDとして配布し、地区民には貸し出し用DVDを作成した。 (評価) 若者のアイデアで中止だったものが再演できて記録に残った。 (今後に向けて) 行事の完全中止決定する前に他に方法の検討時間をもつ必要がある。

事業名	コミュニティ・スクールの支援
事業費	50,000円
事業概要	(実施内容)陶小学校コミュニティ・スクール活動を支援しました。 (実施時期) 随時 (参加人数) (成果) 地域の人材が教育活動、課外活動(昔遊び、草取り)に講師役として携わった。 (評価) 早朝草取りは、ある意味三世代交流にもなる。 (今後に向けて) 陶小学校のコミュニティ・スクール活動の支援を続けます。

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。